

Peregrine

AssetCenter

バージョン3.xと4.xの相違点

© Copyright 2002 Peregrine Systems, Inc.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc_comments@peregrine.com) までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.2.0に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.
Worldwide Corporate Campus and Executive Briefing Center
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
Tel 800.638.5231 or 858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com



目次

1. モジュールの拡張	9
2. ポートフォリオモジュールの新しい概念	11
製品の新しい概念	11
資産の新しい概念	12
重要資産：2テーブル	13
資産の概要	14
3. 調達モジュールの新しい概念	15
社内依頼	18
4. ライセンスとインストール済ソフトウェア	19
5. ファイナンスモジュール	23
経費付替え	23
6. より機能的な管理モジュール	25
7. 新しいモジュール：ケーブル	27
8. 新しいテーブル	29

図の一覧表

3.1. 調達サイクルの略図 (バージョン3.x)	16
3.2. 調達サイクルの略図 (バージョン4.0.0)	17
3.3. 社内依頼の例	18
4.1. ソフトウェア管理の略図 (バージョン3.x)	20
4.2. ソフトウェア管理の略図 (バージョン4.0.0)	21



表の一覧表

1.1. モジュールの比較	9
-------------------------	---

1 | モジュールの拡張

- バージョン3.xでは、6つの「モジュール」があらゆる面から資産を管理、トラッキングするための機能を提供していました。
- バージョン4.0.0でも、**モジュール**は存在しますが、その意味がより幅広くなりました。特に3つのモジュールの内容がより充実し、新しいモジュールが1つ追加されました。

表 1.1. モジュールの比較

バージョン3.x	バージョン4.0.0
資産管理 ：資産テーブルを基にしたIT資産の管理とトラッキング	ポートフォリオ ：あらゆる種類の機器、固定資産、不動産、サプライ品、アクセサリのライフサイクルの完全管理。ポートフォリオ品目の分類、構造および資産のトラッキングを基盤としています。
調達管理 ：カタログ製品を基にした調達サイクルの管理とトラッキング	調達 ：調達サイクルは、充実したカタログ管理、拡張されたポートフォリオ、複数のサプライヤと複数のバイヤの管理を基盤とし、外部カタログとの統合も可能。

コスト管理：予算テーブルとコストセンターテーブルを基にした経費の管理とトラッキング。契約上の資産のトラッキング

契約管理：リースタイプの契約のトラッキング。

管理：フィールドのカスタマイズ。ユーザプロファイルの割当。

ファイナンス：経費の管理、特定の予算期間におけるコストカテゴリのトラッキング、経費付替えシステム。

契約：あらゆるタイプの契約の完全管理/トラッキング。

管理：フィールドのカスタマイズ。データベースオブジェクトの作成。ユーザプロファイルの割当。

ケーブル：建物のケーブルインフラストラクチャ、パッチ、資産間の接続を管理するための新しい専門モジュール。

モジュールを新たに取得する際には、情報の分類や構成、および使用者の分析を厳密に行う必要があります。

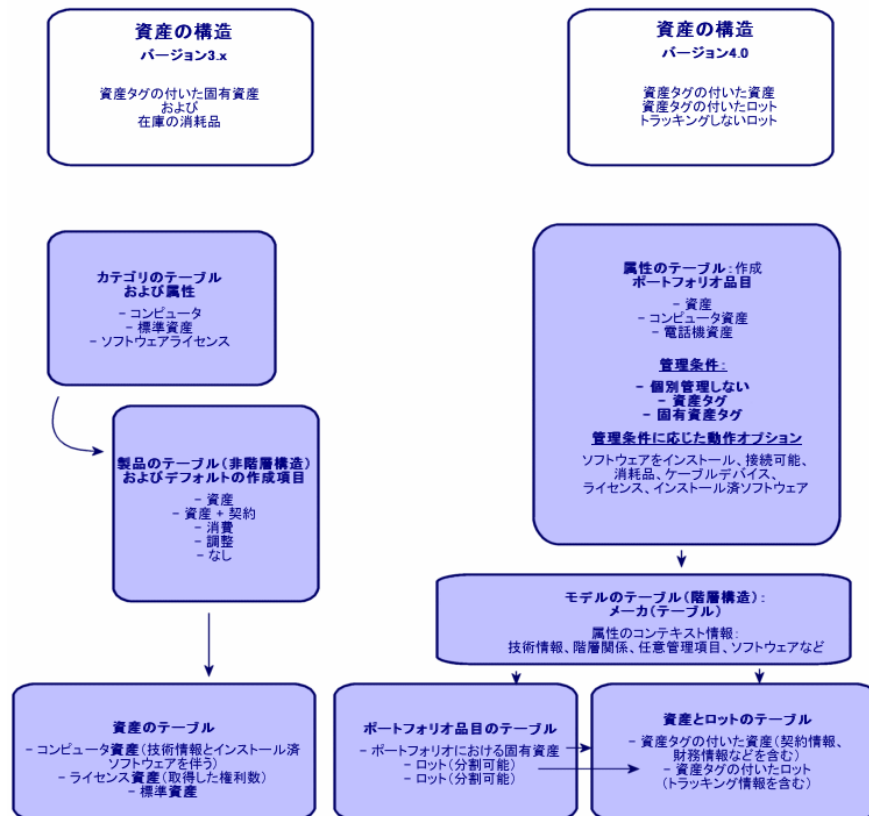
2 | ポートフォリオモジュールの新しい概念

資産管理モジュール（バージョン3.x）とポートフォリオモジュール（バージョン4.0）の両方で、資産、契約、作業指示、研修などのインフラストラクチャに関する情報を正確に把握できます。

ただし、すべての資産の重要性が必ずしも同一であるとは限らないため（コスト面、技術面、営業面）、こうした相違点をよりの確に管理するために、AssetCenterのポートフォリオモジュールでは、「資産」の概念が再定義されています。

製品の新しい概念

- AssetCenterのバージョン3.xでは、製品カタログとは単一のカタログを指し、内部参照とサプライヤの参照の両方を【会社】テーブルへのリンクを使って記述します。各製品は、属性に関連付けられたカテゴリを通して分類されています。
- AssetCenterのバージョン4.0では、2つの管理領域が存在します。内部参照はツリー構造で記述されています。モデルは属性を基に作成され、製品は調達モジュール用のサプライヤのカタログリファレンスにリンクされています。



資産の新しい概念

- AssetCenterのバージョン3.xでは、**【資産】**テーブルは固有のレコードを含みます。これらのレコードは任意管理項目により記述され、資産タグ、バーコードにより識別されています。また、関連契約に従って資産の資金が調達されたり、メンテナンスが行われたりします。
- AssetCenterのバージョン4.0では、あらゆる種類の資産を異なる方法で管理するために、より精密な管理方法が適用されています。資産は**固有の品目**、または**ロット**単位の品目として見なされます。これらの品目は、各々の重要度に応じて、棚卸によりコンテキスト情報が指定された品目として**【ポートフォリオ】**テーブルに記録されます。**【資産】**テーブルでは、資産タグの割当、ファイナンス情報、契約情報、メンテナンス情報などより細かな管理情報が記録されます。

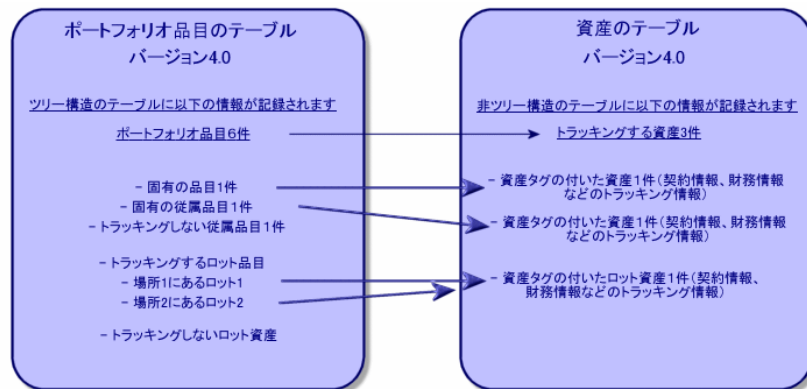
この結果、異なるユーザ2人がそれぞれの立場からインフラストラクチャを管理できます。

ポートフォリオマネージャは棚卸結果を完全に把握できる

どのハードウェア？どの設定？数量は？どの単位？割当ステータス？どの在庫？どの設置場所？どのコストセンタ？

資産の責任者は資産のトラッキングと資産のライフサイクルを把握できる

どの資産タグ？どのシリアル番号？コスト？どの契約？どの固定資産？どの発注？どの請求書？...



重要資産：2テーブル

- AssetCenterのバージョン3.xでは、（カテゴリにより指定された）3つの属性を基にした資産が、**【資産】**テーブルのみに記録されています。つまり、標準資産、コンピュータ資産、ライセンス資産があります。
- AssetCenterのバージョン4.0では、コンピュータと電話機を区別するために**【資産】**テーブルを補足する2つの**テーブル**が新たに追加されました（**【コンピュータ】**テーブルと**【電話機】**テーブル）。

コンピュータ資産と電話機資産では、様々なユーザに関する特有の情報管理が必要です。このため、**【電話機】**テーブルと**【コンピュータ】**テーブルが新たに追加されました。

さらに、これらのテーブルを新たに使用することで、より適切な外部インポートを実行できます。

資産の概要

いずれのバージョンを使用するにせよ、AssetCenterにおける**資産**とは、その取得から除却に到るまでのライフサイクルを通して、トラッキング、管理する必要のある資産のことを指します。

AssetCenter 4.0では、資産の重要性と属性に従って、異なる角度から資産を管理します。

このためには、以下の事項を考慮する必要があります。

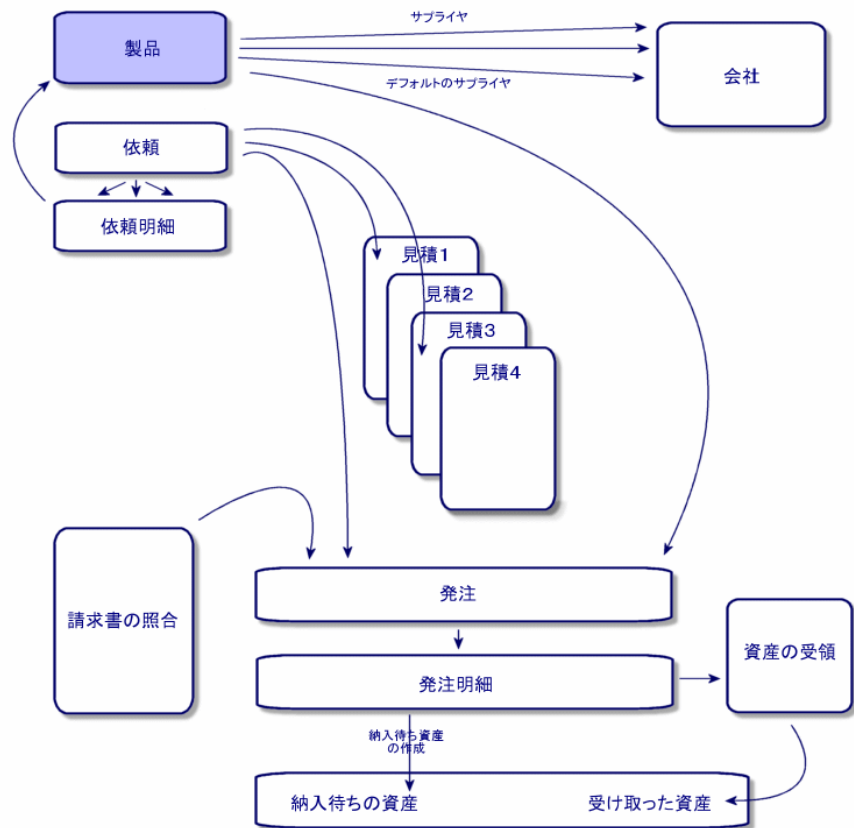
- AssetCenterで何を管理する必要があるのか？
- 資産をどのような形で管理するのか？単位、数量、セット商品、オプション付き、消耗品...
- どの情報をトラッキングする必要があるのか？
- 最も適切なトラッキング方法は何か？
- どのユーザが変更できるのか？誰が何を管理するのか？
- 新たに取得する場合、どのような調達サイクルを使用するのか？
- その他

最後の質問は、第二のモジュールである**調達**モジュールに関連します。

3 | 調達モジュールの新しい概念

- AssetCenterのバージョン3.xでは、**調達サイクル**は、依頼、ワークフローによる依頼の承認、見積、発注、納品待ちの資産の作成、受領、そして請求書の照合という過程から構成されています。調達サイクルは、依頼、発注、もしくは見積のいずれの過程からでも開始できます。
- AssetCenterのバージョン4.0.0では、調達サイクルはサプライヤのカタログリファレンスなしには考えられません。このため、依頼は従来のように「製品 - サプライヤ」というコンテキストで処理されるのではなく、社内におけるニーズと見なされます。言い換えれば、製品を依頼するのではなく、**モデル**を依頼することになります。

図 3.1. 調達サイクルの略図 (バージョン3.x)



AssetCenterのバージョン4.0.0における調達サイクルは、サプライヤの製品に対応するリファレンスから成るカタログを基盤としています。カタログは、動的そして能率的に広範囲に渡って管理されます。例えば、価格を内容量単位またはロット単位で管理したり、複数の測定単位を管理したりできます。カタログの豊富な情報をより適切に管理するために、外部アプリケーションとの統合機能も提供されています（Get-Resourcesなど）。

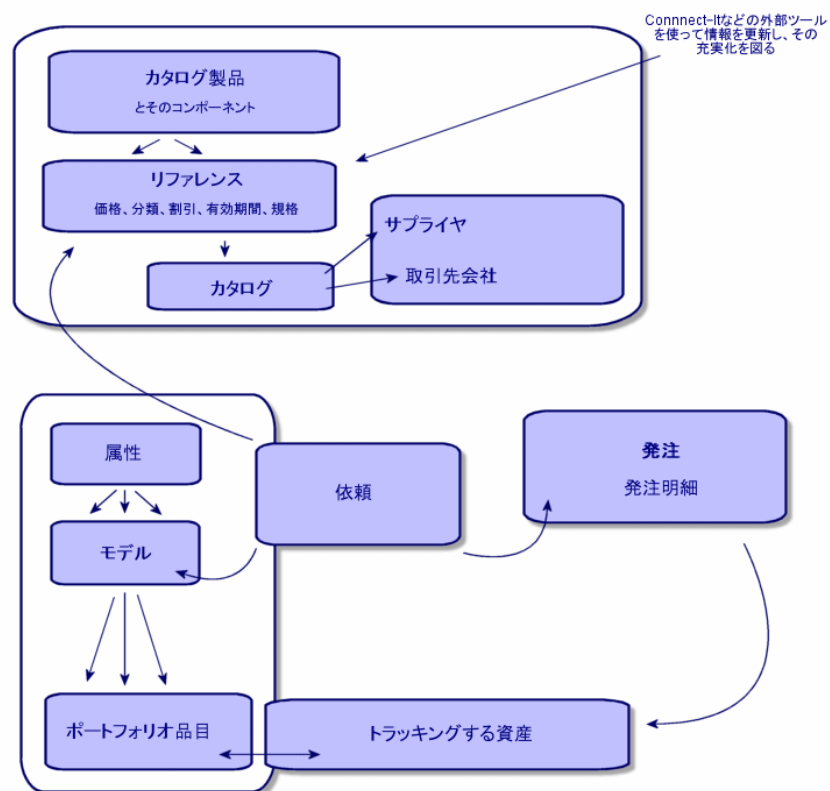
サプライヤが提供する製品はカタログで正確に参照されるため、発注作業がより正確になります。

調達サイクルを適切に管理するためには、各手順を順番通りに踏んで作業を進める必要があります。

- バージョン3.xとは異なり、**発注の前に必ず依頼を作成しなければなりません。**

- バージョン3.xの「見積」は、バージョン4からは「発注」と見なされます。この発注ではサプライヤが指定され、発注のステータスは「見積依頼済」になります。

図 3.2. 調達サイクルの略図 (バージョン4.0.0)



上記の図は、調達サイクルに関連する3つの管理領域を示しています。

- 購入者。サプライヤのリファレンスを理解する従業員。発注の責任者。
- ポートフォリオの管理者。棚卸、在庫、設置場所、割当などを管理する責任者。
- 資産の管理者。重要な資産の情報を把握し、資産のコストおよび財務/契約情報をトラッキングする従業員。

社内依頼

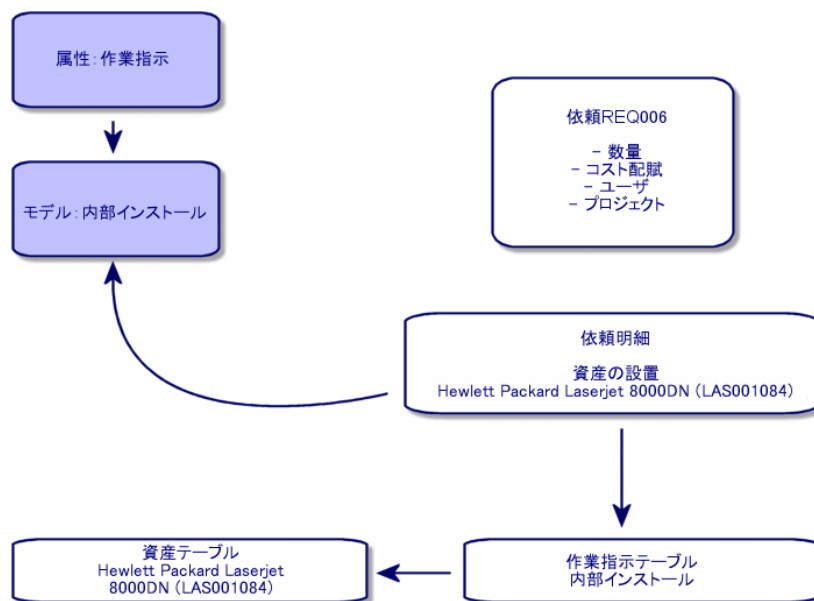
- AssetCenterのバージョン3.xでは、**調達**モジュールを入手しない限り、依頼機能を使用できませんでした。
- AssetCenterのバージョン4.0では、依頼は「サプライヤのカタログ」というコンテキストに縛られないため、**調達**モジュールなしでも**社内依頼**という形で使用されるようになりました。

ただし、社内依頼は、調達モジュールの簡略バージョンではないため、発注や受領の対象とは成り得ません。

社内依頼の主な用途は、**作業指示**タイプの依頼の作成です。作業指示の依頼を作成する際には、その**モデル**を選択し、依頼者、プロジェクト、コストの配賦などのリンク情報を指定します。

作成された社内依頼を実行すると、関連テーブルにレコードが作成されます。

図 3.3. 社内依頼の例



4 | ライセンスとインストール済ソフトウェア

- AssetCenterのバージョン3.xでは、ソフトウェアがインストールされたコンピュータや、取得したライセンスの情報を記録するためのテーブルがあります。**ライセンス**は【**資産**】テーブルに記録されます。シングルまたはマルチタイプに応じて、取得した権限数を管理できます。**コンピュータ**も、資産タグの付いた固有アイテムとして【**資産**】テーブルに記録されます。**ソフトウェア**は、【**ソフトウェア一覧**】テーブルで管理されます（主にIDDタイプのインベントリツールが入力）。**インストール済ソフトウェア**は、【**インストール済ソフトウェア**】テーブルでコンピュータとソフトウェア間のリンクという形で管理されます（主にIDDタイプのインベントリツールが入力）。**カウンタ**は、【**カウンタ**】テーブルで記述され、ライセンスで許可されている権限数と実際のインストール数を比較、確認します。

注意:

この管理方法では、コンピュータとそのコンポーネントすべての全体像を把握できません。つまり、ハードウェアまたはライセンスのみがコンピュータの従属資産と見なされるため、インストールは別のタブで管理されています。

- AssetCenterのバージョン4.xでは、ポートフォリオ品目の構成により、コンピュータのすべてのコンポーネントの全体像がつかめます。**コンピュータ**は、**ポートフォリオ品目**そして**コンピュータ資産**として記述されます。

- **ライセンス**は、コンピュータのコンポーネントである**ポートフォリオ品目**として記述されます。シングルまたはマルチタイプのいずれかに応じて、取得した権限数を管理できます。
- **インストール済ソフトウェア**は、コンピュータのコンポーネントである**ポートフォリオ品目**として記述されます。
- **カウンタ**は、[**カウンタ**] テーブルで記述され、ライセンスで許可されている権限数と実際のインストール数を比較、確認します。

図 4.1. ソフトウェア管理の略図 (バージョン3.x)

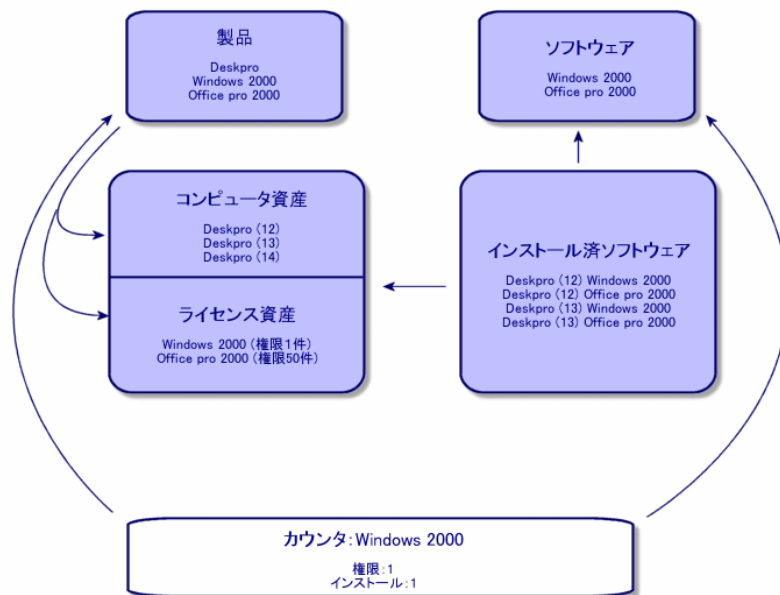
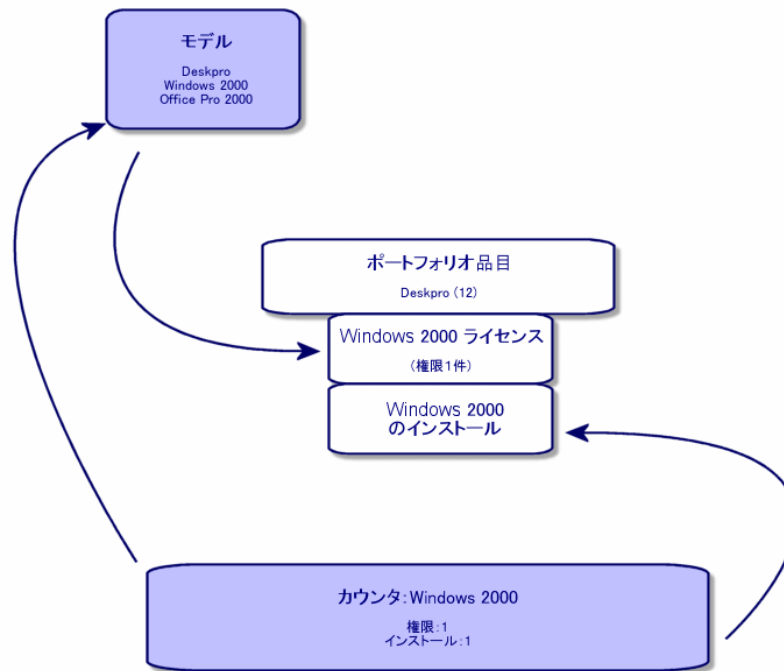


図 4.2. ソフトウェア管理の略図 (バージョン4.0.0)



5 | ファイナンスモジュール

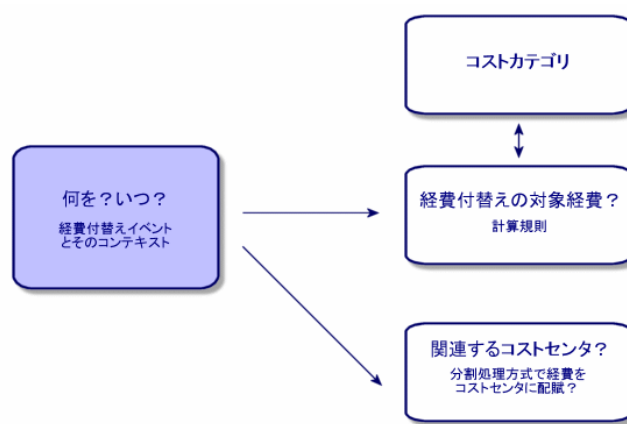
- AssetCenterのバージョン3.xにおけるコスト管理モジュールは、**予算とコストセンタ**（コスト負担部門）を通して経費を管理します。
- AssetCenterバージョン4.0の**ファイナンスモジュール**では、より正確に経費を管理できます。ファイナンスモジュールは、**期間と予算カテゴリ**を軸とした、**予算年度**という概念を基盤として設計されています。

経費付替え

予算カテゴリを均一に管理し、部署ごとに発生するコストをより正確に計算するために、AssetCenter 4.0では企業に固有の経費付替えシステムを指定できるようになりました。

経費付替えシステムを定義するためには、以下の操作を行う必要があります。

- 経費付替えのプロセスと規則を定義する。
- 経費付替えのインプットイベントを定義する。



6 | より機能的な管理モジュール

AssetCenterバージョン3.xの管理モジュール

- ワークステーションレベルで実行されたカスタマイズ事項は、ローカルで「.ini」ファイルに保存されます。

データベースをカスタマイズするとは、以下のフィールドをカスタマイズすることを意味します。

- 名前
- タイプ
- 必須
- 読取り専用
- 履歴保持
- デフォルト値

ユーザをカスタマイズするには、テーブルの使用権限および特定のレコードへのアクセス制限を指定して、ユーザにプロファイルを関連付けます。

AssetCenterバージョン4.0.0の管理モジュール

- ユーザのカスタマイズ事項は、**データベーステーブル**「amSysConfig」で保存されます。

データベースをカスタマイズすると、新しいオブジェクトを作成できます（テーブル、フィールド...）。

データベースをカスタマイズするとは、以下のフィールドをカスタマイズすることを意味します。

- 名前
- タイプ
- 必須
- 読取り専用
- 履歴保持
- デフォルト値
- 無関連

ユーザをカスタマイズするには、テーブルの**使用権限**、特定のレコードへのアクセス制限および**機能権限**を指定して、ユーザに**プロファイル**を関連付けます。

ユーザ設定 (SQL名 : amSysConfig)

管理者によるカスタマイズ : 新しいテーブル、新しいフィールド、アクションなど

システム : 変更不可能なオブジェクト (テーブル、画面、アクションなど)

7 | 新しいモジュール：ケーブル

ケーブルモジュールは、以下の分野における技術的な知識を要します。

- ケーブルシステムの構成
- ケーブリングの技術
- ケーブルハードウェア
- ケーブルの規格

このモジュールでは、以下の作業を行えます。

- ケーブルとケーブルデバイスの詳細な物理インベントリを保持する。
- ケーブルの全体像を確認する。
- ケーブルを設置、除却するためのプロジェクトや作業指示を作成する。
- ケーブリングのベストプラクティスを定義し、ケーブル間の接続モードを統一する。

8 | 新しいテーブル

バージョン4.0.0	新しいテーブル
amAbsence	不在
amActionMemo	アクションのメモ
amBrand	メーカー
amBudgCenter	予算センタ
amBudgClass	予算分類
amBudgetCategory	予算カテゴリ
amBudgLine	予算明細
amCabCnxType	ケーブル接続のタイプ
amCable	ケーブル
amCableBundle	ケーブルバンドル
amCableDuty	ケーブルの用途
amCableLink	リンク
amCablePair	ケーブルのペア/導線
amCabPairType	ペア/導線のタイプ
amCatalog	カタログ
amCatProduct	製品
amCatRef	カタログリファレンス
amCatRefScript	カタログリファレンススクリプト
amCatScriptData	カタログのフォーマットデータ
amCbkInvLine	社内振替明細

バージョン4.0.0

新しいテーブル

amCbkInvoice	社内振替
amCbkLine	経費付替え明細
amCbkRule	経費付替え規則
amCbkScript	経費付替えスクリプト
amCbkSplitLine	分割処理明細
amCbkSplitRule	分割処理規則
amCbkStoredEvent	経費付替えイベント
amCbkSystem	経費付替えシステム
amCFAql	AQLタイプの特種フィールドスクリプト
amCFScript	Scriptタイプの特種フィールドスクリプト
amCnxPinMap	接続ピンのマッピング
amColorCode	カラーコード
amColorDet	カラーコードエントリ
amComputer	コンピュータ
amCostCategory	コストカテゴリ
amCountry	国
amDevicePin	ピン
amDocBlob	文書の内容
amDprLine	減価償却引当金
amFinancialYear	会計年度
amFuncRight	機能権限
amFVBudgCenter	任意管理項目(予算センタ)
amFVBudgLine	任意管理項目(予算明細)
amFVCable	任意管理項目(ケーブル)
amFVCableBundle	任意管理項目(ケーブルバンドル)
amFVCableDuty	任意管理項目(ケーブルの用途)
amFVCableLink	任意管理項目(リンク)
amFVCablePair	任意管理項目(ケーブルのペア/導線)
amFVCablePairType	任意管理項目(ペア/導線のタイプ)
amFVCatalog	任意管理項目(カタログ)
amFVCatProduct	任意管理項目(製品)
amFVCatRef	任意管理項目(カタログリファレンス)
amFVCbkInvoice	任意管理項目(社内振替)
amFVCbkLine	任意管理項目(経費付替え明細)
amFVCbkRule	任意管理項目(経費付替え規則)
amFVCbkSystem	任意管理項目(経費付替えシステム)
amFVColorCode	任意管理項目(カラーコード)
amFVColorDet	任意管理項目(カラーコードエントリ)
amFVComputer	任意管理項目(コンピュータ)

バージョン4.0.0	新しいテーブル
amFVCostCategory	任意管理項目(コストカテゴリ)
amFVDevicePin	任意管理項目(ピン)
amFVlftCpuUsrRgt	任意管理項目(マネージャグループの権限)
amFVlftGroupAlias	任意管理項目(受信者グループ)
amFVlftRight	任意管理項目(InfraTools基本権限)
amFVModel	任意管理項目(モデル)
amFVModelPair	任意管理項目(ケーブル用モデルのペア/導線)
amFVModelPort	任意管理項目(モデルのポート)
amFVModelSlot	任意管理項目(モデルのスロット)
amFVPeriod	任意管理項目(期間)
amFVPortfolio	任意管理項目(ポートフォリオ品目)
amFVProdOption	任意管理項目(オプション)
amFVProjCable	任意管理項目(プロジェクトに関連するケーブル)
amFVProjTraceOut	任意管理項目(プロジェクトに関連するトレース)
amFVReceipt	任意管理項目(受領)
amFVReceiptLine	任意管理項目(受領明細)
amFVReservation	任意管理項目(予約)
amFVSlot	任意管理項目(スロット)
amFVSlotType	任意管理項目(スロットタイプ)
amFVTermField	任意管理項目(成端場所)
amFVTermFldCfgDuty	任意管理項目(成端場所設定の用途)
amFVTermFldCfgRole	任意管理項目(成端場所設定の役割とデバイス)
amFVTermFldConfig	任意管理項目(成端場所設定)
amFVTermFldDevice	任意管理項目(成端場所デバイス)
amFVTopoGroupDet	任意管理項目(グループ内のトポロジ)
amFVTopology	任意管理項目(トポロジ)
amFVTopologyDet	任意管理項目(トポロジステップ)
amFVTopologyGroup	任意管理項目(トポロジグループ)
amFVTraceHistory	任意管理項目(トレース履歴)
amFVTraceOp	任意管理項目(トレースの処理)
amFVTraceOutput	任意管理項目(トレースの説明)
amFYDivision	期間区分
amlftAgent	エージェント
amlftCpuUsrRgt	マネージャグループの権限
amlftEventLog	イベントログ
amlftGroupAlias	受信者グループ

バージョン4.0.0

新しいテーブル

amIftRelGroupAlias	グループ/コンピュータリンク
amIftRight	InfraTools基本権限
amLabelRule	ラベル付け規則
amModel	モデル
amModelPair	ケーブル用モデルのペア/導線
amModelPort	モデルのポート
amModelSlot	モデルのスロット
amModelSoftInfo	作成するインストール
amNature	属性
amPCard	支払用カード
amPCardType	支払用カードのタイプ
amPeriod	期間
amPhone	電話機
amPhoneFeat	電話機能
amPhoneFeatTemplate	電話機能のモデル
amPKFT	ボタン/機能割当
amPortfolio	ポートフォリオ品目
amProdClassCode	分類コード
amProdOption	オプション
amProjCable	プロジェクトに関連するケーブル
amProjTraceOut	プロジェクトに関連するトレース
amReceipt	受領
amReceiptLine	受領明細
amRelCatalogClients	カタログ - 取引先外会社の関係
amRelCatalogSuppliers	カタログ - サプライヤの関係
amRelCCatClass	コストカテゴリ - 予算分類の関係
amRelFRProfile	プロファイルに関連している機能権限
amRelModelCompat	モデル間の互換性
amRelPOrdReq	依頼/見積のリンク
amRelSlotTypeModel	モデル - スロットタイプの関係
amRelSuppPCardType	サプライヤ/支払用カードのタイプのリンク
amRelTermLoc	場所 - 成端場所の関係
amReservation	予約
amScriptLibrary	スクリプト
amSlot	スロット
amSlotType	スロットタイプ
amSysConfig	システム設定とユーザ設定
amTermField	成端場所
amTermFldCfgDuty	成端場所設定の用途
amTermFldCfgRole	成端場所設定の役割とデバイス

バージョン4.0.0

バージョン4.0.0	新しいテーブル
amTermFldConfig	成端場所設定
amTermFldDevice	成端場所デバイス
amTopoGroupDet	グループ内のトポロジ
amTopology	トポロジ
amTopologyDet	トポロジステップ
amTopologyGroup	トポロジグループ
amTraceHistory	トレース履歴
amTraceOp	トレースの処理
amTraceOutput	トレースの説明
amUnit	単位
amWkEvtScript	ワークフローのイベントスクリプト

バージョン3.x

バージョン3.x	削除されたテーブル
amCategory	カテゴリ
amProduct	製品
amProdSupp	製品のサプライヤ
amFamily	シリーズ製品
amRelProdCompat	製品の互換性
amConsUse	消費
amProdCompo	製品明細
amProdPort	製品のポート
amProdReserv	製品の予約
amProdSoftInfo	作成するインストール項目
amProdStockLine	在庫項目
amEstimate	見積
amEstimLine	見積明細項目
amItemReturned	返却品
amPOrdRetLine	返品項目
amFVCategory	任意管理項目(カテゴリ)
amFVConsUse	任意管理項目(消費)
amFVEstimate	任意管理項目(見積)
amFVEstimLine	任意管理項目(見積項目)
amFVPOrdRetLine	任意管理項目(返品項目)
amFVProdCompo	任意管理項目(製品明細)
amFVProdPort	任意管理項目(製品のポート)
amFVProdReserv	任意管理項目(製品の予約)
amFVProdStockLine	任意管理項目(在庫項目)
amFVProdSupp	任意管理項目(製品のサプライヤ)
amFVProduct	任意管理項目(製品)
amFVSoftware	任意管理項目(ソフトウェア)

バージョン3.x	削除されたテーブル
amRelEstimReq	依頼/見積のリンク
amSoftware	ソフトウェア
amDeliv	受領伝票
amDelivLine	納入項目



October 10, 2002